

「新たな世界が広がりますよ」

森山 敬子

矢作先生との出会いが、私の第 2 の人生の扉を開いた。

10 年程前のことである。その頃の私は交通事故（不運なことにひき逃げ事故だった）で頭を強打し、その後遺症の影を引きずっていたし、元気になったとはいえ健康や仕事など失ったものも大きく、鬱々とした時間を過ごすこともあった。ある夏の暑い日、「そうだ、大学へ行って英語の勉強をやり直そう」と、何か衝動的に突き上げるものを感じて池袋の本屋へ向かった。その足で、すぐ学習院へ行き願書をもらいに行った。試験は秋だった。

キャンパスは秋一色に染まり、赤や黄色の木の葉が風に揺れていてまるで別世界だった。何かが始まりそうな予感に、心から学習院で学びたいと強く思った。

筆記試験の後に面接があった。生真面目で実直そうな雰囲気を書かせた矢作先生が、眼鏡越しにこちらを探るように質問をされた。「何があっても勉強を優先できますか？ そういう覚悟はありますか」「入ってみないとわかりませんが、そう努力します」と私。「こつこつ辞書を引いたり地道な勉強が必要ですが、出来ますか？」「ハイ、仕事で英語を使っていたし、翻訳も随分とやってきたので大丈夫です」と答えると、「大学の勉強は全く違います。ただし努力をすれば新たな世界が広がりますよ」と返された。会話が噛み合わないまま面接は終わり、「新たな世界」の門戸が開くかどうか、不安の入り混じった気持ちでキャンパスの紅葉を眺めていた。

入学してみると、大学は予想以上に楽しく充実感があつた。構内は緑が多く静かで、オフィス街とは違ってアカデミックな空気が流れていて、文学を勉強するには最適な環境だった。そして、初めて学ぶ米文学史は新鮮で面白かった。9時のチャイムが鳴ると、矢作先生はすでに教壇に立って授業を始め、絵巻物のように繰り広げられる饒舌なアメリカ文学の世界は、わたしを異次元の世界へと誘った。一語一句もらすまいと必死でノートをとった。先生の文学に寄せる情熱とその熱い語りに魅せられた。今でも思い出すのは、ヘミングウェイの『武器よさらば』のラストシーンの先生の語りに、思わずウルウルと目頭が熱くなり、(文学っていいなー)と、心が浄化されるように感じたことである。その後すぐ原書を購入した。ホイットマンやディッキンソンの先生の演習では、五感を研ぎ澄まされるような緊張感が快感だった。ディッキンソンの“death”の詩を読むと、身体が寒くなるのだが、ホイットマンは土臭くて太陽の匂いがした。“There is really no death”という詩行は、若かったらきっと反発していただろうが、今の年代であれば、死は、終わりではないのかも、さりげなく受け入れることができるから不思議なものである。矢作先生と出会っていなければ、ホイットマンやディッキンソンを研究することもなかったかもしれない。人生は不思議な縁で結ばれているのだと思う。

私が大学院に進もうとしていた時に、娘が大学選びを悩んでいた。「学習院がいいわよ！」と勧めたのも、学習院の先生方の素晴らしさや、優しくおらかな学生の気質、キャンパスの美しさや、利便性の良さを実感として感じていたからである。娘も不思議なことに(私は、勧めなかったのですが...)、矢作先生のゼミを取り、親子2代でお世話になりました。娘は矢作先生から学んだ“情熱”を胸に、現在は出版社で元気に働いている。「今の生き方があるのは、矢作先生の文学のおかげである」と言っている。

先生は、「学生皆が幸せになってほしい。それが、僕の望みだ」と、いつも生徒のことを最優先で考えてくださった。昼休みに「リスニング研究会」を開き、学生たちのリスニングやスピーキング力の向上にも力を注いでくださった。私が非常勤の仕事に決まったときも喜んでくれて、「森山は最初の頃に比べると随分変わった。これからは、先生として一

生懸命やりなさい」と、励ましの言葉をいただいた。4 月になったら、仕事の報告も兼ねていろいろお話ししたいと思っていたのに、残念でならない。あまりにも突然に風のように逝ってしまった。今でも大学の研究室の前を通る時に、扉をノックしたら先生が、「やー、元気かい」と声をかけてくれるような思いにとらわれている。何か話したいことがあると、いつも受け入れて下さった。矢作門下生たちも素敵な仲間だった。「美酒蘭」で、先生や仲間たちと、お酒を飲みながら語り合った時間は一生の思い出とし心に留めておきます。長いようで短かったこの 10 年間、充実した幸せな日々だった。矢作先生、ありがとうございました。先生のお蔭で、人生後期のライフワークを見つけることができました。先生の足元にも及びませんが、先生の授業に臨む真摯なお姿を思い浮かべながら、また新たな世界を求めて生きていきます。先生、天国から見守っていて下さいね。

(学習院大学 非常勤講師)